

2013年11月22日 306号

共同センターNEWS

憲法改悪反対共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX5842-5620)

<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

秘密保護法案は廃案に

憲法改悪反対共同センター

緊急 国会議員要請行動

21日、STOP!「秘密保護法」大集会に先立ち、憲法改悪共同センターは「秘密保護法阻止！憲法改悪ストップ！緊急議員要請行動」を行いました。緊急集会にもかかわらず、大阪、茨城、埼玉、神奈川、静岡、愛知、奈良からも駆けつけていただき、新婦人から11人、全商連から7人、自治労連から5人の参加があり、全体で18団体、53人が参加しました。

集会では、自由法曹団改憲阻止対策本部担当・事務局次長の横山雅弁護士が主催者あいさつ。「秘密保護法は、表現の自由と知る権利を奪う希代の悪法で、憲法が根底から覆される。たたかいを広げて、必ず廃案に追い込もう」と呼びかけました。

次に、日本共産党の塩川鉄也衆院議員が国会情勢報告。「共産党だけでなく、他党の論戦を通じて、特定秘密が無限定に広がる危険性が明らかになった。国民の声で悪法をつぶすために最後まで、がんばろう」と語りました。

そして、全労連の高橋信一副議長が運営委員会を代表して、下記のアピール案に基づき、行動提起を行いました。

集会は30分で終え、その後、衆参の国家安全保障特別委員会の70人の委員に対する議員要請となりました。



院内集会アピール

緊急事態です！特定秘密保護法案の廃案めざしてたたかいをさらに広げよう

現在、衆議院の「国家安全保障に関する特別委員会」で「特定秘密の保護に関する法律案」が審議されています。

法案は、「国の安全」「外交」「外国の利益を図る目的で行われる安全脅威活動の防止」「テロ活動防止」の4分野について、国が一方的に「特定秘密」について指定し、その「特定秘密」を漏らしたり、漏らすことをそそのかしたりすると、懲役10年以下という厳罰を与えるというものです。この間の国会論戦で明らかになったことは、「特定秘密」について、国が勝手に指定するため、何が「秘密」か、それ自体が秘密であることです。しかも、秘密指定の有効期間も延長でき、半永久的な秘密扱いが可能となっています。

また、原発やTPPに関する情報も「特定秘密」の対象となり、マスコミの取材や国民が情報公開を求めるなど、情報に接近しようとする行為も、最高懲役10年で処罰される恐れがあり、国民の知る権利は侵害されます。

現在、特定秘密保護法案について、与党と一部野党の修正協議が行われています。しかし、修正は枝葉のみで、秘密が恣意的に指定され、国民の権利を奪い、目と耳と口をふさぎ、基本的人権、民主主義を破壊する法案の根幹部分は全く変わっていません。

反対の運動は、急速に広がっており、世論も過半数が反対・慎重審議を求めています。

このような世論の高まりの中、与党は、来週にも地方公聴会の開催し、衆院通過を狙っています。戦争する国づくりに道を開く「特定秘密保護法案」を廃案に追い込むために、下記の行動にとりくみましょう。

- ① 引き続き、宣伝・対話・署名を大きく広げ、日本版NSCと特定秘密保護法案の本質と狙いを明らかにしましょう。
- ② 「秘密法に反対するすべての人たち大集合、STOP『秘密保護法』11.21大集会」(18:30～日比谷野外音楽堂)を、会場いっぱいの参加で成功させましょう。
- ③ 共同センターとして開催する11月29日(15:00～17:00、参議院B107会議室)の院内集会と議員要請行動に参加しましょう。
- ④ 地域から政党や国会議員へ「廃案に」と要請のファックス・メールを集中しましょう。
- ⑤ 憲法会議など様々な団体が提起する緊急行動に積極的に参加しましょう。

2013年11月21日 憲法改悪反対共同センター

「STOP!『秘密保護法』大集会」に1万人

—会場あふれ、入れず！ デモ終了10時半—



秘密保護法案をめぐって国会情勢が緊迫するなか、「STOP!『秘密保護法』大集会」が21日に比谷野外音楽堂が開催され、その後国会への請願デモが行われました。

会場には多数の人々が次々と集まり、開会30分前には満杯となり、集会開始前に入場制限。金網の外でスピーカーから流れてくる訴えや報告等に耳を傾ける方が多数いました。

集会では、海渡雄一弁護士が主催者あいさつで、集会開催までの経過と目的を語り、同じ時間に青森、愛知、福井など全国14ヶ所で集会やデモがとりくまれていることを紹介しました。

次に、出席した国会議員が、党ごとに紹介され、各党の代表があいさつしました。日本共産党の志位和夫委員長は「秘密保護法案は『修正』でなく廃案に、この声で安倍政権を包囲し、この希代の悪法を何としても阻止しよう」と訴えました。さらに、社民党の吉田忠智党首、民主党や無所属の山本太郎議員があいさつしました。

また、日弁連の秘密保全法制対策本部の江藤洋一本部長代行は「日弁連一丸となって立ち上がりました。修正ですまされない。みなさんとの熱い共同で、廃案に追い込むまでたたかう」とあいさつしました。さらに、作家の落合恵子氏、新聞労連の日比野敏陽委員長、田島康彦上智大学教授らがあいさつしました。

その後、7時30分より国会請願デモと銀座デモへ。国会要請デモの最後の梯団が解散地点の永田町小学校前についたのは10時30分ちょっと前でした。その間、衆参の議員面会所前では集会に参加した議員らが並んで、2時間半近く、次々に押し寄せる参加者とともにシュプレヒコールをあげていました。

//各地のとりくみ//

大阪 「秘密保護法」強行採決許さず、国民世論で押し返そう

11.15の大阪集会を呼びかけた自由法曹団大阪支部・関西MIC・国民救援会大阪府本部・民主法律家協会・大阪労連の5団体が、11.21大集会に呼応して、京橋駅で宣伝。26人が参加しました。

「何が秘密？それは秘密 知る権利を守れ！」と書かれた横断幕や秘密保護法反対のノボリを立て、道行く人に、秘密保護法反対リーフを配布。大阪労連、関西MIC、国民救援会、民法協の代表から「昨日の最高裁判決で先の衆議院選挙が違憲状態の審判が出されました。違憲状態の衆議院で『違憲の秘密保護法』を成立させるのはとんでもないこと」「藤原紀香さんや菅原文太さんをはじめ多くの国民がこの法案に不安があると反対の声を上げている」「戦争は秘密から始まります。国民の耳、目、口をふさぐ秘密保護法に反対の声を」「マスコミを萎縮させ、国民の知る権利が阻害されるとんでもない法案。廃案に追い込んでいこう」「良いことも、悪いことも、国民一人ひとりが判断することが大切。この法案は判断する情報を隠してしまうとんでもないモノ」「修正協議と報道されているが、法案の本質は変わっていません。国民に百があって一利なしの秘密保護法に反対の声を上げていきましょう。国会議員に伝えていきましょう」など訴えが行われました。

リーフを受け取った大学生が「今日大学の講義で先生から『秘密保護法が成立すると大変なことになる』と話を聞いたばかり」話してくれるなど、秘密保護法反対の動きが広がっていることを実感することの出来た宣伝行動となりました。



お知らせ

秘密保護法阻止！憲法改悪ストップ！

世界の宝9条を守り生かそう！

緊急

「11・29 院内集会と議員要請行動」にご参加を

11月29日（金）15:00から、参議院B107会議室で開催します。

仲間とともに署名を持って参加しましょう！

憲法を学び、生かし、平和な日本と世界を！